



教会短信

2009年12月13日

No. 30

牧師 間瀬 善彦

「今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシア（救い主）である」（ルカ福音書2章11節）。

クリスマスイブの日はだれもが楽しく過ごしたいと思うのではないのでしょうか。でもその日、もし、あなたに幽霊（本当は神の使い）が現れたら、楽しい気分は台無しになってしまうでしょう。しかし、その幽霊とは神から遣わされた特別の使いだったのです。私たちが神から愛されていることを知らせ、私たちの犯している罪を気づかせ、真の悔い改めに導き、幸福な人生をおくるようにと。

ディケンズ作の「クリスマス・キャロル」は、お金が大好きで、けちな主人公、スクルージがクリスマスイブの夜、幽霊（神の使い）から過去、現在、未来の自分の姿を見せられて、このままの生き方では自分はダメだと気づかされ、変わっていく姿が描かれています。人の一生は運命によって決められているわけではありません。人はどのような生き方をするかによって、自分の人生を暗くすることも、明るくすることもできます。つまり、人生は自分の生き方次第で変えることができるのだということを教えてください。

人間は失敗の多い取り返しのできない過去、自分の思い通りに生きることができない現実、先が見えないという不安に包まれた未来を抱えながら生きています。過去はもうやり直しができないのですから、過去の失敗から学んで今の現実を精一杯生きるしかないのです。また、未来のことをいわずに不安がっているばかりではいけないのです。問題は今をどう生きるかです。

では、私たちのために遣わされている幽霊（神の使い）とは誰でしょうか。クリスマスイブの夜、小さな村の家畜小屋で多くの人に知られることなく、密やかにお生まれになった救い主イエス・キリストです。神の御子が人となって、私たちの救いのために来てくださいました。私たちに神の愛を知らせるために、私たちのすべての罪を引き受けて、私たちが過去の罪にとらわれず、新しく今を精一杯生きるためです。では今をどう生きたら良いのでしょうか。イエスの語られる御言葉（聖書）から学んでください。きっと、あなたの未来には希望が湧きあがるでしょう。今まで体験したことのないほどの生きる喜びがきっと与えられるはずです。



ちいさなリース

私は、クリスマスを迎える季節になりますと、「ちいさなリース」さかもとふみ著、この本を思い出します。そして寒い季節ですが、私の心は暖かくなります。この本をご紹介します。

むかし、ある国にとっても恐ろしいカロールという名前の将軍がいました。「おれは世界で一番偉いんだ！おれの言うことを聞かないやつはだれだ！」と、いつも大きな声でどなりちらしていました。カロール将軍は、自分の気に入らない人を、牢屋に投げ込んでしまうのです。兵隊たちは、カロール将軍のことが大嫌いでしたが、カロール将軍のいうことは、どんなことでも従いました。

ある日のことです。カロール将軍が家に帰ると、家の門に小さなリースが飾ってありました。こんなことは初めてだったので、カロール将軍はびっくりして、荒々しく花を地面にたたきつけ、足で踏んづけました。

ところが次の日も、また次の日も、毎日、毎日、カロール将軍の家の門には、美しい花のリースが飾ってありました。自分に花をプレゼントしてくれる人などいるはずがないと思っていたカロール将軍は不思議でたまりませんでした。でもカロール将軍は、本当は嬉しくてたまりませんでした。だれが花を持ってくるのかつきとめるために、カロール将軍は隠れてこっそり見ることにしました。小さな女の子がやってきました。

「おまえだな。おれんちの門に花を置くやつは！何でそんなことをするのだ！」と将軍はどなりました。女の子は「私のパパとママはあなたにつかまって牢屋に入れられました。そして死んでしまったのです。私はあなたのことが大嫌いでした。でもある日、パパとママがいつも言っていたことを思い出したのです。『あなたの敵を愛しなさい』って、だからいじめられてもカロール将軍に優しくしてあげよう。許してあげようと思ったの」。

カロール将軍は、女の子の言葉を聞いて、家に入ると、泣きました。「おれはなんて悪い人間だったんだ…。涙が後から後からこぼれてきました。「今までみんなを苦しめてきた。これからは人を幸せにするために生きよう。優しい人間になろう」と決心しました。

この物語は、ルーマニアで本当にあったことを元にして書かれた話です。聖書に「あなたの敵を愛しなさい」と書かれています。敵を愛すと言うことは難しいことです。しかし、この女の子のように敵を愛してみましよう。きっと、周りの人たちが変わるでしょう。 K.M

一粒の麦がもし地に落ちて死ななければ、
それは一つのみです。しかし、
もし死ねば、豊かな実を結びます。

(ヨハネの福音書 12章 24節)

一粒の麦を種として蒔くと、種類によって違いはあるものの収穫時には、二十粒ほどに増えます。約二千年前、キリストは、自分を一粒の麦にたとえ、そのいのちを十字架上で犠牲にすることで、すべての人の罪を自らが担い、イエスを信じた人に永遠のいのちを与えるという神の計画を実行しました。日常生活でも、ある人が嫌な役を買って出てくれることで、その周辺の人が助かるということもあります。「あのひとのために」という素朴な愛に基づいて行動することは、豊かな実を結ぶのではないのでしょうか。(『聖書の品格』いのちのことば社より)



クリスマス

- 12月20日(日) クリスマス礼拝
午前10時30分～11時30分
- 12月24日(木) クリスマスイブ礼拝
午後7時～8時
キャロリング
午後8時30分～9時

★温いお茶、お菓子を用意しています。ご気軽においでください。

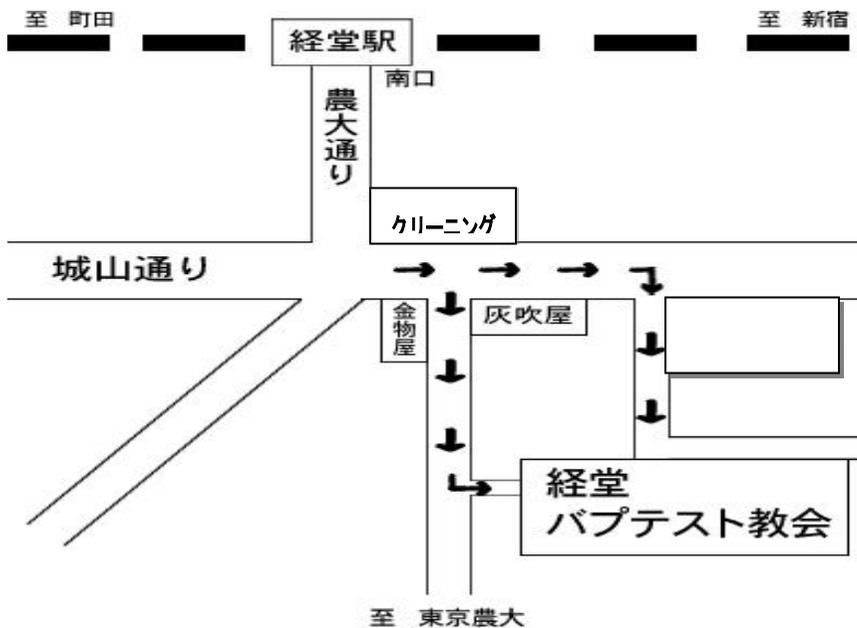
元旦礼拝

2010年1月1日(金) 午前11時～12時

今年は、教会の礼拝からスタートしてみたいでしょうか。

日曜日は教会へ集会案内

主日礼拝	日曜日	午前 10時30分～11時30分
教会学校	日曜日	午前 11時45分～12時30分
	青年科・成人科	
聖書を学ぶ会	火曜日	午後 1時30分～2時30分
聖書研究・祈禱会	水曜日	午後 7時30分～8時30分



経堂バプテスト教会

牧師 間渕 善彦

〒156-0053 世田谷区桜1-64-30

TEL 03-3427-2352

当教会は、エホバの証人、モルモン教、統一協会とは一切関係ありません。